保小中一貫コミュニティースクール西川学園

保小中つながる教育センター通信 VOL. 4

発行：西川町教育委員会

第１回保小中合同授業研究会

教育センターの事業につきまして、先生方から積極的に取り組んでいただいていることに感謝申し上げます。昨年度の反省を活かしながら、部会ごとの研修にも精力的に取り組んでいただいており、実り多い１年になることを期待しております。

さて、５月３１日に本授業研に関わる「合同授業構想会」を行いました。伊藤先生、大場先生から単元や授業構想をお聞きし、参加された先生方からたくさんのご意見をいただきながら、本日の授業提案となりました。

＜合同授業構想会で話題になったこと＞

（１）授業について

２年　生活科　伊藤　雄太　教諭

・単元は　～生きもの発見～　「生きているってすごい」　10 時間（８～９時間）
・学校周辺の観察から（ビオトープ）興味を高める。ふるさと楽校（大井沢　秋山・大泉）で地域の先生から学ぶ体験を行う。水生生物を中心に取り上げる。単元の終末は授業参観での発表とする。
・つけたい力「自分なりの表現　順序だてて説明する」　国語との関連。対話的な学びを通して。

・ビオトープでの観察で進めたい。沼山入間生き物捕まえ。　昨年の 2 年生は元に戻すか考えたが、ビオトープに放した。
・ビオトープで飼育する→池に放すと見えなくなる。飼育が難しい。
・調べ学習をどうするか？ふるさと楽校で教えてもらう→本→誰かに聞く。
・ビオトープに放すのは水生生物？　グループ活動　予想できる種類　３～４種類　連れてきたものについて調べる。
・子ども達は生き物というと池、カタツムリ、ダンゴムシ、ニンジン畑であげはの幼虫を発見。
・世話しやすいものがいいのか。放すことは最後か。
・入間では「やご」がいた。２回目も行く。
・手元で飼うか、放すか。水生生物は水の管理が難しい
・観察が占める部分　変化２～３回は観察（目の届くとこと　手元に）　国語「観察名人」
・自分が子どもだったら興味のある生き物で追及したい。
・教科書にはいろいろな生き物が載っている。限定すると、興味の差が出てくる。

伊藤先生の構想では、ふるさと楽校との関連や水生生物に集中した構想だったが、話し合いから、一人一人の興味を大切にした生きものの選択もあるのではないかという意見が出された。対話する内容をどうするかということも改めて考えることとなった。

４年　理科　大場　千紘　教諭

・単元は雨水の行方と地面の様子
・流れ方としみこみ方。１時間目の授業。わかっていること、疑問を出し合って、どんなことを追求するか課題を焦点化する。疑問と予想をたくさん出させる。
・付けたい力「生活経験をもとに根拠を示して話す」また、単元づくりの工夫の観点を中心に取り組む。

・問題部分をはっきりさせて。流れとしみこみ以外の蒸発、ごじゃまぜな実験方法から何がわかるか焦点化して、実験の方法を考えた方がよい。
・どんな実験が出そうか。球体を転がす、砂・土の種類のしみこみ方、これまでは直接観察が多かった。予想の根拠を大切にしたいと思っていたので、実験方法はまだ考えていない。
・写真で比較して。水たまりに注目させる方法もある。

・わかっていることを整理していく。
・西川小のグランドでやりたいが水はけがよい。写真に以外に動画。
・確かめる視点を示す。流れ方校庭、中庭、コンクリート。
・写真は西川小にするのか？教材から入って、西川小に戻ってもよいのではないか。教材を上手に使ってよいと思う。
・最初の示し方が大切。最後の締め方は子ども達の振り返りを大切にした方がよい。
・知識より、観察実験の技能を高めることが大切な単元。結論より過程が大切。考える過程を大事にする。１限目、２限目が大事。失敗しても交流で考え方を広げる。
・指導要領では水は高い場所から低い場所と流れるを抑える。

大場先生の構想については、教材選択や提示の工夫、実験のあり方を中心に話し合われた。本時は１時間目であるため、単元を貫く課題意識・追求の意欲が高められるかがポイント。

（２）授業研の参観の視点・事後研の持ち方

・グループごとの対話の様子はどうだったか、指導者の関わりはどうか。
・単元づくりの工夫について。
・教科が違うと話し合いにくいので、研究の視点に基づいて考察する。子ども様子をまな板に載せる。
・授業の視点を明確にして、それについてどうであったか振り返る。

＜授業研前の学級の様子から　～教育委員会訪問～＞

２年　生活科

・生きものの扱いは子ども達の興味に応じて。
・給食時の会話「〇〇ちゃん、メダカにえさあげないと。」「私たちは〇〇飼っているの！」5 時間目の生活科を楽しみにしている子ども達の会話が聞こえてきた。
・伊藤先生の子どもへの関わり方の変容→子どもの目線にたって支援。この単元を通して、子どもの考えや学習の様子がよく見えてきた！？
・子ども達はそれぞれの場所で活動しているが、熱心に観察したり、発表ボードを作ったりしていた。

◎個別最適化を図る
→自分が興味を持った生きものの観察や発表の準備に没頭している。
◎生活科で大事にしたいこと
→対象に何度もかかわって、新しい気づきが生まれること
振り返りを大切にして、体験や気づきを価値づけていくこと

４年生の体育

・キックベースボールの授業。
・ルールはみんなが楽しめる、動けるように工夫されている。
投手と打者が同じチーム、守備はボールを取ってサークルに全員入れば進塁できない…
・ルールに対する意見の相違で一触即発の場面もあったが、丁寧に話し合い、納得してプレー再開。

◎体育は学級経営が見える
→ルールの工夫で子ども達が一生懸命取り組んでいる。
相手チームに対してもアドバイスや声援を送る子がいる。
折り合いをつける話し合いができる。
◎理科の授業に期待したこと
→根拠をはっきりさせて自分の意見が言える。
友達の考えを受けて、話し合いができる。
疑問や予想をたくさん出し合い、単元への興味や意欲を高める。